

～ 建学の理念・精神 ～

学校法人後藤学園の歴史は、昭和22年に洋裁の技術者養成という社会的要請のもと設立された武蔵野ドレスメーカー女子学院にさかのぼることができる。その後、昭和43年に武蔵野調理師学校を、昭和45年に武蔵野栄養専門学校を相次いで設立し、調理技術・公衆衛生の知識を備えた調理師法に基づく調理師の養成、また栄養士法に基づく栄養士の養成を中心として「衣」「食」という実生活に直接係りある専門家の養成を行い、社会に有為な人材を数多く輩出し続けてきた。

さらに、社会全体が健康志向になるという社会的要請に鑑み、「健康」と「スポーツ」をテーマとした健康栄養専攻と健康スポーツ専攻からなる健康生活学科単科の武蔵丘短期大学を平成3年に開学し、平成24年度からは、健康マネジメント専攻を加えた三専攻体制とし、幅広い分野で活躍する人材を社会に送り出してきた。平成26年度からは、文部科学大臣の認定を受けた「職業実践専門課程」が新たな学校種への先導的試行としてスタートし、本学園では、武蔵野調理師専門学校の高度調理経営科及び武蔵野栄養専門学校の栄養科が初年度に申請し認定された。更に武蔵野調理師専門学校のダブルプログラム科、専門学校武蔵野ファッションカレッジのアパレルプロフェッショナル科・ファッションスタイリング科も申請し認定されたことから、平成27年度からは対象となる2年制の学科はすべて「職業実践専門課程」となった。文部科学省は、学校種として「専門職業大学（仮称）」の検討を発表しているが、本学園では常に時代の要請に応え続けるべく、動向を注視して行きたい。

このように本学園は、社会に対する即戦力を養成すべく体感・体験・体得を目的とする「身体で覚えた技術は一生を貫く」という教育理念のもと実学を重視し、「優れたプロは優れた人格を有する」ことから人格教育に力を注いでおり、徳育を重視し、情操豊かな人材の育成と専門教育という、その時代時代の社会的要請に応じつつ、国民生活・文化の向上に貢献しうる有為な人材育成に努めている。